

多様な移動サービスを結ぶことで人の交流を起こし、地域活性に繋げる

岸和田市 令和4年度スマートモビリティ推進活動 成果報告 2023.2.16













STEP①:プロジェクト賛同自治体と有効性や課題を検証

STEP②:都市間連携・地域課題にマッチするモビリティサービスの最適組合せ

STEP③:人の交流する小さな拠点・コミュニティ機能の獲得

STEP₁

特定地域での有効性検証

STEP²

都市間連携・モビリティ拡張

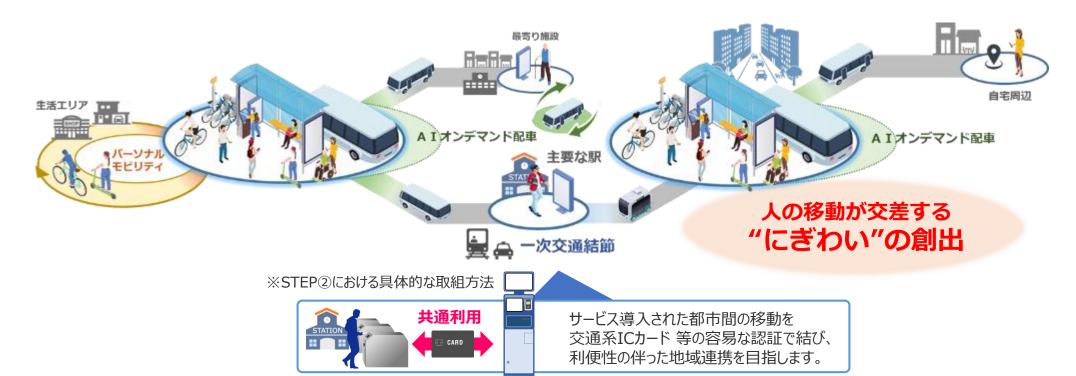
STEP3

拠点・コミュニティ形成

複数モビリティサービスが結節しスムーズに乗継ぎが可能となるモビリティポートの検証。

一次交通との結節を加えた都市間の移動連携を実証。

交流人口を伸ばしコミュニティとしての機能を獲得し、地域に根付くサービスモデルを創出。









STEP① 特定地域での有効性検証

(*****) 幹線道路(計画)

岸和田駅

先行してまちづくりの進む「道の駅」周辺エリアと、今後のまちづくり検討対象と なる「山直」エリアでスマートモビリティ実証を実施。



令和3年度活動

電動アシスト自転車・軽量電動 バイクによる移動検証。 モビリティポートによるアプリレスの モビリティ貸出検証。





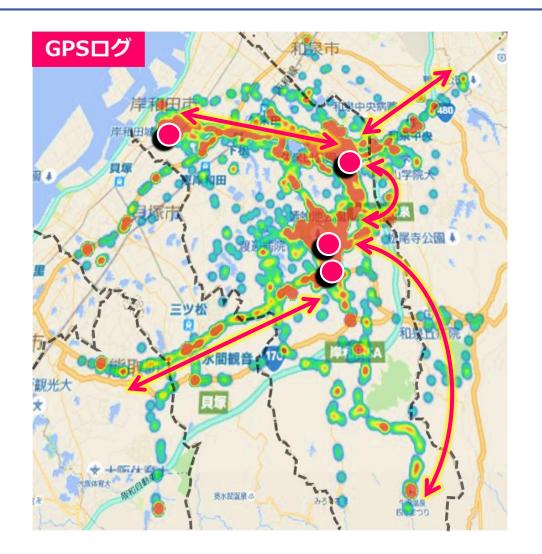




STEP① 特定地域での有効性検証

先行してまちづくりの進む「道の駅」周辺エリアと、今後のまちづくり検討対象と なる「山直」エリアでスマートモビリティ実証を実施。

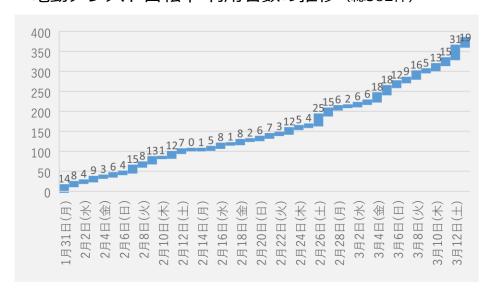
令和3年度活動



シェアリング型のスマートモビリティとして公共交通とは異なる移動需要を獲得。

40~50代を中心として上は70代までの利用者が現れデジタルディバイドの解消としても一定の効果を得る。

■電動アシスト自転車 利用者数の推移(総382件)





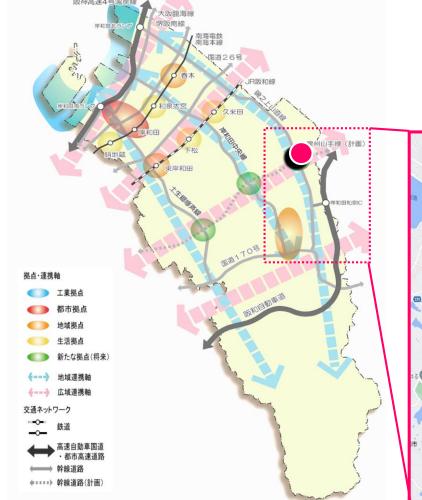


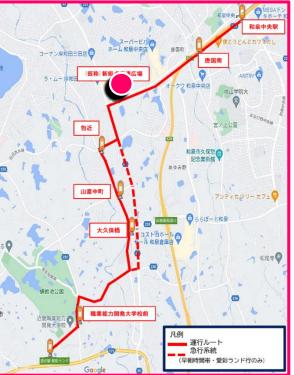


今後のまちづくり検討対象となる「山直」エリアに、新拠点交通広場「山直東(やまだいひがし)」が開業。バスとの結節環境を検証。

令和4年度活動

スマートモビリティの移動需要として現れた、「道の駅」周辺エリアと 「山直」エリアを結び、和泉市と接続するバス路線を新設。 新拠点交通広場でのモビリティ検証を実施。









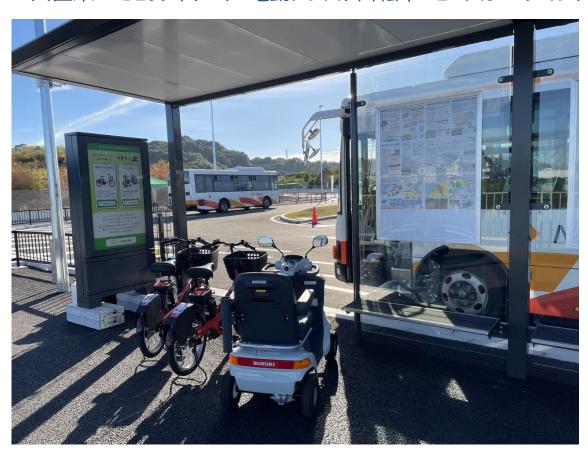




今後のまちづくり検討対象となる「山直」エリアに、新拠点交通広場「山直東(やまだいひがし)」が開業。バスとの結節環境を検証。

令和4年度活動

■山直東:モビリティポート・電動アシスト自転車・セニアカー・デマンドタクシー需要検証



「山直東」のお披露目イベントに合わせて、モビリティポートを 活用した電動アシスト自転車・セニアカー・デマンドタクシーの 利用について需要性を検証。

まちづくり対象エリアの住民を始め将来の移動環境について意見交換を実施。









今後のまちづくり検討対象となる「山直」エリアに、新拠点交通広場「山直東(やまだいひがし)」が開業。バスとの結節環境を検証。



■モビリティポート情報発信の検証コンテンツ

令和4年度活動



11/6の5便を対象にバス試走時刻をご案内。次の出発が遠めにも判り易くなります。



岸和田市のまちづくりの取組み、新バスルート、100周年記念事業のイベントをご案内。 交通拠点における時刻案内と合わせることで、住民周知に役立つ広告面となります。



岸和田市を含めた各地の交通拠点の取組みと、解決したい課題・狙いを発信しました。







今後のまちづくり検討対象となる「山直」エリアに、新拠点交通広場「山直東(やまだいひがし)」が開業。バスとの結節環境を検証。



■バス交通との結節モビリティ検証コンテンツ

- ●電動アシスト自転車
- ●セニアカー

シェアリング利用



●オンデマンドタクシー ※貸切タクシーによるデモ

デマンドタクシー呼出し



令和4年度活動

●バス路線

新設バスルートMAP







🔛 Osaka smartcity partners forum

モビリティポートの機能拡張検証

横展開となりえる他自治体での 展示検証を実施

STEP③に向けた独自検証

自動運転バス

堺市SMIプロジェクトに参画。新しいモビリティを交通網として認知・利用して 貰える環境としてモビリティポートのデジタルMAPを検証。



●自動運転車両 (GPS連動) ●堺トラム (Twitter連携)







令和4年度活動

GPSやTwitterを活用したリアルタイムの 交通情報をMAPベースで表現することで、 住民が直感的に新しい交通網を認識でき、 交通変容に効果的な情報を検証。









令和4年度活動

モビリティポートの機能拡張検証

ディスプレイ拡張・認証機能を 加えた新型筐体実証

STEP③に向けた独自検証

住民利用を容易とさせる認証機能としてICカードに対応した筐体を開発。 情報用・操作用ディスプレイにより"街のインターフェイス"を目指す。

023年1月30日

「交通結節点のスマート化によるにぎわいのある安心安全なまちづくり」の実 証実験開始

高蔵寺ニューモビリティタウン構想の社会実装を促進

ニュースリリース > 製品・サービス > モビリティ >

■DNPモビリティポートとしてICカード認証を加えた筐体の開発











STEP①:プロジェクト賛同自治体と有効性や課題を検証

STEP②:都市間連携・地域課題にマッチするモビリティサービスの最適組合せ

STEP③:人の交流する小さな拠点・コミュニティ機能の獲得

移動がスムーズな まちづくり

STEP(1)

特定地域での有効性検証

STEP₂

都市間連携・モビリティ拡張

STEP3

拠点・コミュニティ形成

複数モビリティサービスが結節しスムーズに 乗継ぎが可能となるモビリティポートの検証。 一次交通との結節を加えた 都市間の移動連携を実証。 交流人口を伸ばしコミュニティとしての機能を 獲得し、地域に根付くサービスモデルを創出。



※STEP②における具体的な取組方法



サービス導入された都市間の移動を 交通系ICカード等の容易な認証で結び、 利便性の伴った地域連携を目指します。

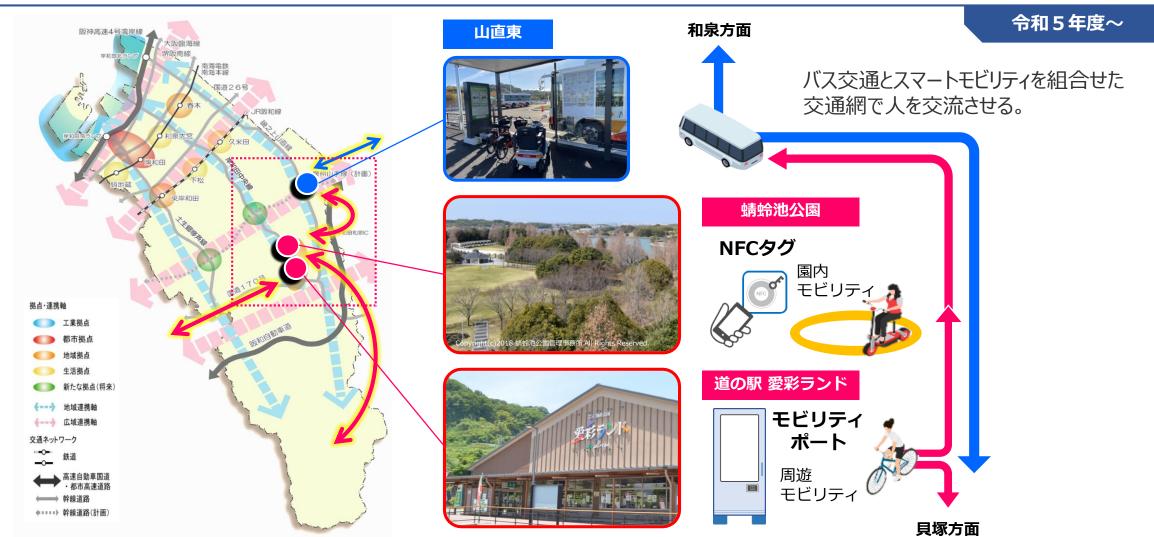






STEP③ 拠点・コミュニティ形成

和泉市との接続を行う「山直東」とスマートモビリティによって流入効果が期待できる「道の駅」を結び、交流人口を伸ばす移動環境を目指す。









STEP③ 拠点・コミュニティ形成 将来開発の進む「山直東」周辺エリアと先行する「道の駅」周辺エリアが相互に拠点となることで、岸和田市内のコミュニティ形成を推進します。





多様な移動サービスを結ぶことで人の交流を起こし、地域活性に繋げる

ご清聴ありがとうございました。



